

鶴岡雑物語
同時開催

旧庄内藩主 酒井家美術資料展

平成三〇年二月二三日〜三月三〇日



金梨子地桐葉紋散懸盤 (当館蔵)
酒井忠次が古田城に徳川家康を招いたときに使用した膳師と伝わっています。

徳川四天王の一人、酒井忠次を祖とする酒井家は、元和八年(一六二二)に庄内藩主として入部し、以天明治時代になるまでの約二五〇年間、鶴ヶ岡城を居城として庄内の地を領してきました。

庄内藩は農政に力を注ぎ、豊かな庄内米の産地として名声を高めていきました。また、日本海航路の拠点、酒田港を中心とした流通経済の発展に伴って西国の文物の移入もはかられ、独自の文化を形成しています。

本展は、酒井家伝来のお雛様や離道具などを紹介する「鶴岡雑物語」とともに開催する企画展です。今回は庄内藩主酒井家に伝わってきた様々な文化財のうち、美術工芸品を中心に展覧します。



酒井忠勝筆 和歌色紙 (当館蔵)
村雨の 露もまだひぬ まきのはに
さりたちのぼる 秋の夕ぐれ

酒井忠次筆 和歌短冊 (当館蔵)
松のひびきにゆきのちるを見て
これも見よ空にはしらしをのがえに
つもれるゆきははらふ松風 忠次



鶴ヶ岡城模倣 群鶴図 (当館蔵) 軸装
全幅裏彩を施した画風は、江戸時代初期の作。七幅が伝わります。



致道博物館

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199

開館時間 午前9時〜午後5時 (入館は午後4時30分まで) ※2月28日のみ休館
入館料 一般700円/高大生380円/小中生280円 (20名以上で団体割引有)
主催 公益財団法人 致道博物館
共催 山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会
後援 一般社団法人 日本人形玩具学会

公益財団法人致道博物館 交通案内



■ JR鶴岡駅よりバス10分「致道博物館前」下車
■ 山形自動車道鶴岡I.C.より車で5分
■ 庄内空港より車で20分